

## 第2学年1組 音楽科学習指導案

平成18年11月17日(金) 第4校時  
場所 第1音楽室

1. 題材 いい音を見つけてあそぼう  
教材 「虫の声」「シンコペーテッドクロック」「音さがし」「かぼちゃ」

### 2. 題材の目標

- (1) 音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 音色の違いを生かして音の組み合わせ方を工夫したり拍の流れに乗って演奏したりすることができる。  
(表現の技能)

### 3. 題材について

この題材は、「音色」に重点をおきながら、表現と鑑賞による様々な学習が設定されている。児童が身近な打楽器を中心に、基本的な演奏法を学びながら音色の違いを感じ取ったり、演奏方法を変えることによって音色が変化することに気づいたりでき、さらに楽器の材料や素材にも着目して、音の特徴と関連があることにも気づくように設定されている。

特に、「音さがし」では、様々な音に耳を傾け、それらの音を聞き分けながら、材質に興味を抱かせる活動をする。皮がはってある太鼓、金属でできたトライアングル、木でできているウッドブロックなど聴き比べることで特徴を感じ取らせ、好きな音を見つける。さらには、リズムを組み合わせる工夫にまで高めていく題材である。

### 4. 児童について

男女共に元気で、歌ったり楽器を演奏したりすることが好きな児童が多い。休み時間には鍵盤ハーモニカを取り出して練習する児童もいる。鍵盤ハーモニカや歌が得意でない児童もいるが、リズム打ちは、手拍子だけでもたくさん練習できる。音楽室では、楽器に触れることを楽しみにし、グループで合わせることはできるようになってきた。強弱や速さに気をつけられる児童も増えてきている。楽器を持つと聴くことが難しい児童もいるので、身近な音さがしをするなど、耳を澄ませる体験を多く取り入れる必要がある。

### 5. 指導について

音楽室を使える日は、なるべく音楽室の楽器に親しむようにしてきた。みんなの前で順番に演奏したり、グループで役割を分担したり、体を動かしたりしながら、音楽をみんなで楽しめるように、これからも進めていきたい。

授業では、歌の他にリズム打ちを楽しく取り入れ、友達の工夫している良さを耳で感じ取らせる。また、CDを聴いたり、友達の演奏を聴いたりするときに、繰り返したり、指揮者になったりして、リズム打ちと演奏方法の違いを自分の耳で感じ取り、細かい聞き取りができた時の喜びに気づかせたい。

新しい試みとして、本時、打楽器の音色や演奏方法による違いを表す方法として絵を取り入れてみることにした。簡単な模様や子供達の得意な擬音語を使っておもしろい音を作り出せるように支援になればと思う。簡単な手作りの打楽器も用意し、音に対する興味・関心を高めたい。

### 6. 指導計画 (8時間配当)

	学習内容	ねらい	関	感	表	鑑	評価規準
1	・歌詞の表す情景をとらえて、表情豊かな歌い方を工夫する。	・情景を想像しながら聞いたり歌ったりして、いろいろな音の響きや表情に関心を、持つようにする。	○	○		◎	・虫の声を聞いている人の気持ちになって歌い方を工夫している。 ・音楽から聞こえてくるいろいろな音に関心を示している。 ・楽器の音色の違いに気づいて聴くことができる。
2	・いろいろな楽器の音色の違いを感じ取って聴く。						
3	・ウッドブロックのリズムのおもしろさに気づいて聴く。						

4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな打楽器の中から好きな音を見つけて音の出し方を工夫する。</li> <li>皮・木・金属を使った楽器の音の響きの違いに気をつけて聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な楽器の音に耳を傾け、音の出し方を工夫して、音色や響きの違いに気づくようにする。</li> </ul>	○ ◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>音の響きの違いを感じ取って音の出し方を工夫している。</li> <li>音色の違いに興味をもち進んで音さがしをしている。</li> <li>音色に気をつけながら拍の流れに乗ってリズムうちをしている。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>気に入った音を使い、拍の流れに乗ってリズムうちをする。</li> </ul>					
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じをとらえたり、歌詞を覚えて歌ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の表情を生かしたり、音の組み合わせを工夫したりして、歌に合わせて演奏することができるようにする。</li> </ul>	○ ◎ ○			<ul style="list-style-type: none"> <li>歌が休みの部分も拍の流れを感じ取って歌うことができる。</li> <li>拍の流れに乗って美しい音で打楽器を演奏することができる。</li> <li>工夫したところに気をつけながら、友達の演奏を聴くことができる。</li> <li>歌に合った音や楽器の組み合わせを工夫している。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムうちのパートを手拍子で打つ。</li> </ul>					
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムうちのパートを打楽器で演奏する。</li> <li>音色の違いを生かし音の組み合わせをくふうして、歌に合わせて演奏する。</li> </ul>					

## 7. 本時の目標

いろいろな打楽器の中から好きな音を見つけて音の出し方を工夫する。

## 8. 準備物 打楽器 ワークシート

## 9. 本時の学習過程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○気持ちを込めて声で歌う。 「虫の声」</li> <li>○鍵盤ハーモニカをメドレーで弾く。 「かっこう」「かえるのがっしょう」「山のポルカ」</li> <li>○手拍子でリズム打ち</li> <li>○本時の目当ての確認 好きな音を見つけて音の出し方を工夫しよう。</li> <li>○打楽器を一通り紹介し、好きな音の響きをさがす。</li> <li>○出したい音の模様や擬音語を鉛筆で描く。どんな音の出し方ができるかいろいろ工夫する。工夫した音の模様や擬音語と音の出し方をワークシートに書く。</li> <li>○グループで工夫した音の出し方で演奏する。</li> <li>○感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速さを変えたり、音を重ねたりして楽しむ。</li> <li>・リズムカードを見てたたく。</li> <li>・音の鳴る物も集めておく。</li> <li>・今までの演奏の仕方、普通の音を聞かせながら好きな音をさがさせる。</li> <li>・コーナーを作り、いろんな楽器のいろんな音の出し方を工夫させる。</li> <li>・浮かばない子は、グループの中で参加できるようにする。</li> <li>・楽器を乱暴に扱わないように注意する。</li> <li>・予想と違う音をたくさん見つけられるようにワークシートの空欄は多くする。</li> </ul> <p>☆演奏は、音の出し方を工夫しているか。</p>